

# 『大会発表論文集』(Proceedings) 執筆規定

(日本語による発表をされた方用)

## 第 21 回『大会発表論文集』(Proceedings) (第 14 号)

日本語用論学会では、2005 年度より、毎年の大会で発表された論文をとりまとめ、大会後に、『大会発表論文集』を発行しています。つきましては、大会の「研究発表」、「ワークショップ発表」、「ポスター発表」にて発表されました皆様でご投稿を希望される方々は、以下の要領で原稿をご提出ください。なお、投稿を希望されない方は提出不要です。

### 1. 執筆規定

#### 1. 用紙・枚数：

A4 用紙、横書き。「研究発表」は 8 ページ以内、「ワークショップ発表」、「ポスター発表」は 4 ページ以内（注：要旨、参考文献を含む）。字数は自由。

#### 2. 書式：

- a. 余白は上下 30mm、左右 25mm とする。1 行文字数、行数、段組などは自由（ただし、文字のサイズは極端に小さくしないこと）。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル、氏名、所属（E-mail アドレスは任意）を記し、そのあと 2 行空けて要旨、本文を続ける。
- c. 「はじめに」または「序論」の節は「0.」からではなく、「1.」から始めること。
- d. 例文の前後は 1 行、各節の前は 1 行空ける。
- e. 注を付ける場合は巻末とし、本文と参考文献の間にまとめて入れる。
- f. 参考文献のフォーマットは『語用論研究』の執筆要領に従うこと（本学会のホームページ <http://www.pragmatics.gr.jp/publications.html> 参照）。

#### 3. 要旨：

- a. 要旨は（日本語での論文も含め）全て英語によるものとし、約 100 語で書く。
- b. 要旨は<Abstract>とページの左上に記し、原稿の 1 ページ目には、タイトル・氏名・所属と要旨を記す。

#### 4. キーワード

- a. 要旨の下に「【キーワード】：」と明記して、日本語で 5 個以内を添えること。
- b. キーワードと本文との間は 2 行空ける。

## 原稿のイメージ（1 ページ目）

タイトル○○○	氏名○○ 所属○○		
<p>&lt;Abstract&gt;</p> <table border="1"><tr><td>.....</td></tr><tr><td>.....</td></tr></table>		.....	.....
.....			
.....			
【キーワード】：1、2、3、			
本文			

### 2. その他の注意事項

- a. 内容は、大会発表に沿ったものとする（但し、必要な修正を施すこと）。
- b. 使用言語は、発表言語に合わせて、日本語とする。
- c. 『プロシーディングズ』に掲載した内容は、さらに発展させて、『語用論研究』に投稿することができる。その場合は、必ず十分な加筆・修正を施すこと。

### 3. 原稿の提出方法

- a. 「原稿ファイル」を、本学会のホームページにある「会員専用ページ(マイページ)」の発表論文投稿画面（2019年2月にオープン予定）にて Word ファイルにて投稿する。但し、ワークショップの場合、代表者が全員分を取りまとめて投稿のこと。
- b. 投稿者の連絡先などの個人情報については、投稿ページの画面に記載された指示に従い、入力すること。

### 4. 原稿の提出期限

**2019年3月31日（日）23:59（日本時間）（この時刻までに投稿を完了すること）**

\* 上記の締切日時を過ぎますと投稿ページが閉鎖され、投稿できなくなります。その時点で未提出のものは投稿を希望されないと判断しますので、ご了承ください。

#### 【問い合わせ先】

日本語用論学会 大会運営部 プロシーディングズ担当 竹田 さら  
proceedings@pragmatics.gr.jp

\* 投稿に関するお問い合わせは、2019年3月25日（月）までお願いいたします。